

【3】秋田県

1 幼児教育関連事業の経緯

- ・平成16年「秋田県幼児教育振興プログラム」の推進
- ・平成18年「秋田県0～2歳児の保育〔手引き〕」の作成
- ・平成20年「秋田県就学前教育振興アクションプログラム」の策定

2 基本方針

- ・0歳から18歳まで、一貫した流れの中で望ましい育ちを目指し、子どもの目線に立って、一人一人に寄り添いつつ、生きる力の基礎を培う教育・保育の促進
- ・自己を十分に発揮し、仲間と豊かにかかわりながら、主体的に遊びを楽しむ子どもの育成
- ・基本コンセプト「はじまりは乳幼児期から」
(0～5歳児のすべての子どもに質の高い教育・保育の機会の提供)

3 施策の具体

① 教育・保育の充実

子どもの育ちを支える遊びの充実と保護者の役割
体験活動の充実
障害を有する等特別な配慮が必要な乳幼児への支援
幼稚園と保育所等の連携
小学校との連携

② 教職員の資質向上

保育者の資質及び専門性の向上
研修の充実

③ 家庭や地域社会との連携の推進

子育て支援の充実
開かれた就学前教室の推進

④ 就学前教育の振興及び理解推進

アクションプログラムの活用と策定

【秋田県の取組から】

- ・0歳から18歳までの、一貫した流れの中で望ましい育ちの入り口（土台）として乳幼児期の教育を重視
- ・「秋田県就学前教育振興プログラム（平成16年）」を基に、国の「幼児教育振興アクションプログラム（平成18年）」を受けて、「秋田県就学前教育振興アクションプログラム（平成20年）」を策定
- ・幼児・養護教育課⇒幼保推進課と、幼児教育推進に特化した組織の存在

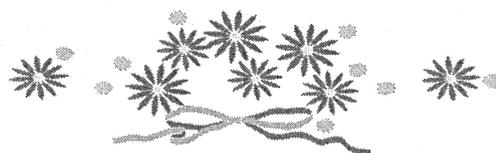
Ⅱ 秋田県の就学前教育



☆☆☆ 秋田県が目指す子どもの姿 ☆☆☆

「心・体いきいき、思いきり遊ぶ子ども」
～ 豊かな遊びから学ぶ力へ ～

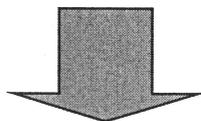
1 目指す子ども像



《秋田県が目指す子どもの姿とは》

秋田県が目指す子どもの姿は、様々な人・もの・場にかかわりながら、のびのびと自己を発揮し、主体的に遊ぶ子どもたちです。

県では0から18歳まで、一貫した流れの中で望ましい育ちを目指しています。そこで、就学前教育では、小学校教育を先取りすることなく、子どもの目線に立って、一人一人に寄り添いつつ、生きる力の基礎を培う教育・保育を推進します。そして、自己を十分に発揮し、仲間と豊かにかかわりながら、主体的に遊びを楽しむ子どもたちを育てます。



《豊かな遊びから学ぶ力へ》

◆ 遊びは、乳幼児期の重要な学びである ◆



子どもは遊びを通して、様々な経験を積み重ねることにより興味・関心を広げ、多くのことに気付いたり、発想を豊かにしたりします。子どもが幼稚園・保育所等で行う遊びは、乳幼児期の重要な学びであり、児童期の学びへの架け橋となります。したがって、保育者は、遊びにおいて人やものとのかかわりが重要であることを踏まえ、適切な物的・空間的環境を構成するとともに、保育者が子どもの思いを十分にくみ取るなど、人的な環境としての役割を重視しながら、意図的・計画的・継続的・系統的な教育・保育活動を展開することで「豊かな遊び」の充実を図ることが重要です。

2 基本的な考え方

◆すべての秋田っ子に対し、就学前教育の振興と充実を目指します

乳幼児期は、人間形成の基礎が培われるきわめて重要な時期です。県では、明日の秋田を担うすべての子どもに視点を置き、思いやりやたくましさ、生きる力の基礎を培うなど、子どもの育ちを大切にした教育・保育を推進します。

また、県では幼保一体的な教育・保育の促進を目指した取り組みに、一層力を入れて取り組んでいきます。「はじまりは乳幼児期から」を基本コンセプトに、就学前の0から5歳児のすべての子どもに質の高い教育・保育の機会を提供できるよう、訪問による指導助言及び情報提供や各種事業の実施並びに研修の開催等により、幼稚園・保育所等への支援を行い、共に教育・保育の充実を目指します。

秋田の子どもの健やかな成長のために

～ はじまりは乳幼児期から ～

3 推進の重点

① 教育・保育の充実

- 子どもの育ちを支える遊びの充実と保育者の役割
- 体験活動の充実
- 障害を有する等特別な配慮が必要な乳幼児への支援
- 幼稚園と保育所等の連携
- 小学校との連携

② 教職員の資質の向上

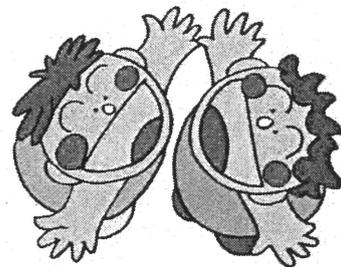
- 保育者の資質及び専門性の向上
- 研修の充実

③ 家庭や地域社会との連携の推進

- 子育て支援の充実
- 開かれた就学前教育の推進

④ 就学前教育の振興及び理解推進

- 秋田県就学前教育振興アクションプログラムの活用と策定



【4】長野県の様子

1 幼児教育関連事業の経緯

- ・幼稚園・保育所、地域、家庭における0歳からの子育てを支援する指針として、「0歳からの信州子育てのために（長野県幼児教育振興プログラム）」を平成17年3月に策定
- ・親が子どもにきちんとかかわり、子どもに関わる課題に親が主体的に取り組むことの重要性を改めて確認し、「子育て」をしっかりと支えることのできる親となるためにはどのようなことが必要かなどについて「0歳からの信州子育てのために（長野県幼児教育振興プログラムⅡ）」を策定。

2 基本方針

- ・幼児期を、生涯にわたる人間形成の基礎、生活や教育の基礎、「後伸びする力」が培われる大切な時期ととらえ、「社会力」を育てることでその基礎作りを図る。
- ・「人へ信頼感、思いやりのもてる子ども」「自分から人とかかわる子ども」に向けて0歳からの子育てを支援
- ・望ましい「子育て」には、それを支えるための「親育ち」が不可欠。「0歳からの子育て」も「親育ち」も、「みんなで保育」を通じて達成され、「みんなで保育」に還元されていく。

3 施策の具体

- (1) 0歳からの子育て支援の充実
 - ①子育てのための家庭環境づくり
 - ②子育て家庭の仲間づくりや相談等への支援
 - ③地域の人々が参加する子育て支援
- (2) 幼稚園・保育所における保育の充実
 - ①人とかかわる体験の充実
 - ②自然体験・社会体験の充実
 - ③言葉や表現力、感性を養う活動の充実
 - ④きめ細やかな保育の推進
- (3) 教員・保育士の資質向上
 - ①目指す子ども増に向けた研究の充実
 - ②園内研修の充実
- (4) 子どもの成長を支える事業
 - ①幼保の連携と合同研修
 - ②幼保小の連携
- (5) 「みんなで子育て」を通じた「親育ち」
- (6) 「親育ち」をサポートする専門的ネットワークの構築